

令和7年度 糸島市立波多江コミュニティセンター研修会 報告書

【日 時】 令和7年 8月 22日(金)14:00～16:00

【場 所】 糸島市立波多江コミュニティセンターはたえ館

【講 師】 「ぼちぼちの会」会長 木村 素也

【講演】 『子どもを真ん中においた不登校支援 地域・家庭・学校で育む「はたえっ子」』

令和7年 8月 22日(金)14時16分30分まで地域・学校・PTA 合同研修会が糸島市立波多江コミュニティセンターはたえ館において実施されました。講師は私「ぼちぼちの会」会長の木村素也でした。当日は地域、PTA、保護者不登校生の保護者だけでなく波多江小学校学校校長先生・教職員、角村PTA会長・吉岡区長様など小学校区、地域の方々、公民館関係者など約60名ほどの方が参加され研修会を行いました。

最初にグループトーク①「なぜ不登校が増えて来たのか」を話し合った後、講演に入りました。講演の中で、①不登校の現状と課題②最近の不登校生の特色③不登校生の「学校に行けない」の原因は何④学校に行きたくても行けない子ども達に対する具体的な考え方やサポートについて⑤環境的要因と個人的要因などについてお話ししました。

講演の後グループトーク②「それぞれの立場で意見交換」③全体交流。④まとめの話。2時間ほどの限られた時間ではありましたが、盛りだくさんの内容で保護者や先生方も頷きながら熱心に話を聞き、意見交換をされていました。終了後も質問などをされました。大変熱心に取り組まれており、今後もよろしくお願いします。



感想

不登校の子どもたちへの支援について、夏休み明けてからの子どもへ向かう姿勢を改めて考え直すことができました。できることに目を向けて、伸ばしていけるような支援をしていきたいです。

教師として、また母親として、ハッとさせられる事柄ばかりでした。教員の立場として、少しでも子ども自身、保護者の方のお力になれるように色々な知識を身につけていこうと思います。

お話はためになった。第3者として関わりたい。不登校について考えが変わった。

今日ならお話から、踏み込むところととどまる場所、特別扱いしないところなど勉強になりました。ありがとうございました。

木村先生、前任校時代にお会いさせていただき、ずっと学ばせていただいています。波多江小学校でも、その出会いをつなげることができて、本当によかったです。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

話を聞いて、なんか心にすっと落ちたようにおもいます。

支援する立場として、その子に対して愛をもって、責めずに信じられるように振る舞いたいと思いました。ありがとうございました。

その子のできることを理解する、できることに目を向ける、その子を信用する、毎日の声かけや関わり方をしていきたいです。

先生のお顔と声に、今まで関わって来られた深い愛情を感じ、ホッとする気持ちになりました。

「不登校の何がダメなの」と問われた時に即答できなかったことに気づくことができました。改めて、不登校って何がダメなのか考えると子どもではなくその環境であることを確認しました。指導者ではなく支援者にを大切にまた頑張りたいと思います。

本日は素敵な講演会をありがとうございました。お話を聞く中で、気づかないうちに自分の中で不登校についての先入観を持ってしまっているなと感じました。本日のお話を聞いて、見守ること・踏み込むこと、また正しい知識を持つことが大切だなと感じました。

どうにかして学校に来てほしいというおもいが強いために、過干渉すぎてしまっている現状があったので、これからは子どものニーズにそって対応できればと思いました。

不登校児童に対して、できるところに目を向けていきたいと思いました。また、不利益にならないようにすることや、自尊心をだいじにして関わっていくこと、本人の意思を尊重することなどを意識して行きたいと思います。

<p>今までの自分の考えを見直す機会になりました。今日の前にいる子どもたちの、自尊感情を高められるように支援していきたいです。</p>
<p>子どもを信じて見守ること、押し付けない、不登校が不利益にならないようにするという学びがありました。夏休み明けに向けての指針をいただきました。ありがとうございました。</p>
<p>ご講話の中の「できることに目を向ける。できることを伸ばす。」という言葉が心に残りました。ついつい、できるようになってほしいという気持ちが先走ってしまうことがよくあります。改めて、見守ることの大切さを学びました。</p> <p>本日は、お忙しい中、貴重な学びの機会をくださり、ありがとうございました。</p>
<p>大変勉強になりました。孫への理解が深まり、孫の成長にしっかりサポートしたいと強く思いました。</p>
<p>不登校の捉え方、子どもへの接し方など今まで迷っていたことや考え方などとても多くのことを知ることができて本当に大きな学びになりました。子どもを信頼すること、愛情を伝えることを大事にして過ごすことで子どもに自信をつけさせたいと思いました。</p>
<p>苦しい思いをしている人の思いを話してくださりありがとうございました。</p>
<p>先生のお顔に子ども達への愛情を感じました。お話しも分かりやすく、とても聞きやすかったです。不登校の子ども達が不利益を受けている。だから不登校だと良くない！というふうにとらえられているのだ！と言葉で聞いて、なるほど！と府に落ちました。有り難うございました。</p>
<p>貴重なお話をありがとうございました。私は不登校児童の母親です。ASDがあり今5年生ですが2年生の終わり頃から行き渋りから不登校になりました。まず先生が仰っていた今出来ることをする、今出来ないことはしないという言葉や自尊感情を低くしない。少しずつ子どものことがわかってきても学校に行かそうと努力していました。無理やり行かそうとせずこの子の出来ることに目を向けてあげることが出来たら少しはお互い気持ちが楽になるのかなと思いましたし、先生のお話を聞いて中学生まではとりあえず本人の出来ることをやっていこうと思いました。</p>
<p>昨年私は、教師として学校に行きにくい子どもに対してどのような支援が望ましいのかとても悩みました。少しでも学校に居場所が作ればと考えて連絡していた行動が、逆に子どもを追い詰めていたのではないかと学ばせて頂きました。見守りながら、必要に応じて支援を考えるようにして行きたいと思いました。</p>

<p>子供を信じて待つことの大切さを学びました。我が子のためだと思い、あれこれダメ出しばかりしてきました。いわゆる「普通の子」になってほしくて、他の子と比べて出来ない事ばかりに目を向けてしまい口うるさく言ってきてしまいました。木村先生のお話を聞き、今すぐ我が子を抱きしめたい思いでした。今からでも遅くはないと信じ、接し方を変えていきます。ありがとうございました。</p>
<p>心に残った言葉がたくさんありました。</p> <p>「できないことに執着するより、できることに、眼をむける」</p> <p>「不登校を不利益にしない」</p> <p>「できることに目を向ける」</p> <p>など、心に残る言葉がたくさんありました。</p> <p>学校としてできることも考えながら聞くことができました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>地域の方、保護者の方とたくさん話ができました。情報共有の場がこれからもたくさんあるといいなと思いました。</p>
<p>地域の方、保護者の方との意見交換ができて大変有意義な時間でした。</p>
<p>有益な話で、自分たちだけではもったいない内容でした。</p> <p>民生委員の方が、もっとはやく地域に知らせてくれると、みんなこれだと思うとおっしゃってました。</p>
<p>地域の方、保護者の方とフリーでたくさんお話しする方ができました。貴重な機会をありがとうございました。</p>
<p>地域の校区として、連携の研修会にできたことが大変価値高いものだと考えます。サロンから研修会につなげていただいた、PTAの皆さんに感謝しています。今後とも連携・協働をよろしくお願いいたします!!</p>
<p>いろいろな立場の人と話す機会となり、素敵な時間になりました。</p>
<p>教師として、保護者として、地域として、様々な立場からの意見を聞くことができたし、自分の考え方を客観視することにつなげられるよい機会となりました。</p>
<p>地域の方、保護者の方とお話できる機会を頂き大変有り難かったです。ありがとうございました。</p>
<p>我が子は不登校ではありませんが、知れて良かったと感謝です。</p>
<p>不登校について客観的に考えるきっかけになりました。また、先生であっても保護者であっても地域であっても子供を真ん中において考える大切さを改めて感じました。</p>

<p>地域の方とも交流ができ、色々な視点からの考えを知ることができてよかったと思います。</p>
<p>今回の研修で、自分のクラスにもいる学校に登校できない児童に対して、適切な対応ができるよう心がけていきたいと思います。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
<p>保護者や地域の方の話が聞けて、考え方が広まりました。ありがとうございました。</p>
<p>教師としての立場から、今の自分にできることを改めて考えながら、アンテナ高く日々取り組んでいきたいなとおもいました。</p> <p>貴重な研修会の場を設けていただきありがとうございました。</p>
<p>保護者、地域、学校で集まって話ができただけで、良かったです。悩んでいらっしゃる保護者の方の気持ちが少しでも楽になっていたら良いですね。</p>
<p>グループトークの中で、あの子もこの子も地域の宝という言葉が印象に残っています。</p> <p>地域の大切な子どもたちをたくさん大人の支え合いながら育てていくことも大切なことだと改めて思いました。</p>
<p>もう少し時間を延長して意見交換をして欲しかった。</p> <p>また、通信制高校に進み自分の居場所を掴んだ生徒に出席してもらい体験談を聞くのもいいかも。</p>
<p>とても有意義な学びの講演会を主催していただき本当に良かったです。普段保護者の方となかなか深く接する機会がないので意見交流ができて感謝です。ありがとうございました。定期的にこのように保護者、地域の方、教師が関わり合える研修の機会が設けられると良いなと思いました。</p>
<p>今回の話から、今学校が行なっている不登校の生徒達への取り組みには、価値がないものなのかと、落ち込みました。</p>
<p>来賓の方のお話しからぐっとテーマに引き込まれました。子ども達に寄り添ったお話しが聞けて有意義な時間となりました。不登校の子ども達を特別視しない。不登校の子ども達が不利益にならない社会を作っていくことが今後の重要なポイントになってくるのだらうと感じました。</p>
<p>とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。</p> <p>色々な方のお話しが聞けたり、まだ子供のことを分かってあげてないことがあるんだなと思いました。もっと子供と向き合う時間を作りたいと思います。</p>

価値観や時代の流れと共に考え方や支援のあり方も変わってきた。核家族が増え、となり近所のコミュニティも交流が難しいので、保護者の子育ての悩みを聞けなくなっても来ている。コミュニティセンターまたは地域の行事等を通じて、子育ての悩みなど、地域の住民として見守っていきたい等の活発な交流ができ、有意義な会でした。

学校へ登校することは、世代によって考え方の相違があることを交流することで知った。

とても良い研修会でした。先生方や地域の方が多数参加していて、保護者だけではなく、みんなで不登校問題に取り組もうという気持ちがありがたかったです。また、このような研修会があればぜひ参加したいです。

地域、PTA、保護者と一緒に研修できたことが、とてもよかったです。また、このような機会があるといいなと思います。

＼ 子どもを真ん中においた不登校支援 ／
地域・家庭・学校で育む「はたえっ子」



グループワークを通して、
不登校×保護者・地域・学校の
関わり方を学んでみませんか？

地域・学校・PTA 合同研修会
8月22日（金）
13：30 開場 14：00 開始
波多江コミュニティセンターにて開催

申込はQRコード
またはお電話にて



申込締切
8月1日（金）



研修内容

講師：木村 素也

講話の中にグループワークを設けます。
聞くだけでも大歓迎です！
参加者の皆さんで、不登校について話をします。



講師：木村 素也（きむら もとや）

不登校生徒の保護者会「ぼちぼちの会」会長・元福岡市立能古中学校校長。
38年間にわたる教員生活を2014年3月に福岡市立能古中学校校長を最後に退職。
中学校の教員として、学校に行けない生徒の進路や、
生活面の支援及び、保護者の情報交流や支援の場作りを目指して活動。

お問い合わせ

波多江小学校 092-322-2327



開催地

波多江コミュニティセンター
2階 大研修室